景観配慮チェックリスト（上野駅周辺地区（視認可能な高層部＋低層部））

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | **景観配慮事項** | **事業者が配慮した内容** |
| 建築物・工作物 | 高さ | 視認可能な高層部 | ●国立西洋美術館前の眺望点からの景観シミュレーションを行い、見え方に配慮した建物高さとする。 |  |
| ●上野駅前広場や西郷像前の眺望点からの景観シミュレーションを行い、見え方に配慮したまち並みを形成する。 |  |
| 形態・意匠・色彩 | 視認可能な高層部 | ●文化・芸術の創造発信拠点及び世界文化遺産のあるまちにふさわしい質の高い景観を形成する。 |  |
| ●立面の圧迫感や存在感を軽減したファサードデザインや素材選定に配慮する。 |  |
| ●背景の空に溶け込むような色彩を選択し、存在感を抑えるよう配慮する。 |  |
| 低層部 | ●日本の玄関口にふさわしい、賑わいの中にも風格が感じられる景観を形成する。 |  |
| ●上野駅前広場や通りに面して、オープンスペースや賑わいの連続性を創出するとともに、まちの活気やアクティビティが豊かにひろがるまち並み景観を形成する。 |  |
| ●建物の地上レベルから上野恩賜公園レベルにおいては、ヒューマンスケールが感じられるデザインに配慮する。 |  |
| パブリックスペース等 | | 低層部 | ●上野恩賜公園とまち、駅を分かりやすくつなぐため、賑わいと潤いが連続した景観を形成する。 |  |
| ●地上レベルから上野恩賜公園レベルまでのパブリックスペースには、上野恩賜公園から連続した緑の景観を重層的に形成する。 |  |
| ●上野駅の正面性を活かした居心地の良い広場景観を形成する。 |  |
| ●地域に開かれたパブリックスペースの活用により、賑わいや活気ある景観を形成する。 |  |
| 屋外広告物 | | 視認可能な高層部 | ●屋外広告物の表示等については、台東区景観計画における景観形成特別地区（上野恩賜公園周辺）Ｃゾーンの位置づけを踏まえ、世界文化遺産である国立西洋美術館前庭からの見え方に配慮する。 |  |
| 低層部 | ●周辺の景観特性と調和し、秩序や風格のある広告景観を形成するとともに、周辺の商業エリアとの賑わいの連続性に配慮する。 |  |
| ●主要な眺望点（上野駅前広場及び西郷像前）や、パンダ橋、ジュエリーブリッジなどからの見え方に配慮した広告景観を形成する。 |  |